

村半利活用検討会（令和5年度第2回）結果報告

日時 令和5年8月24日(木)16時00分～17時00分

場所 村半 大会議室

出席者 検討会メンバー5名、講師 オブザーバー2名(地域ラボ・高山)、事務局(総合政策課)5名

内容

1 協議事項

(1) 利用状況等について

- ・ 令和5年6月、7月の利用状況や占用利用実績等について説明
- ・ 今後の占用受付について

2 報告事項

- (1) 臨時開所について 秋の高山祭：令和5年10月10日(火)
- (2) 3年間の振り返り

3 その他

高山市の若者支援について

<意見交換、質疑> M:構成メンバー、講:講師、オ:オブザーバー(地域ラボ・高山)、事:事務局
(1)協議事項に対する意見等

事:8月15日頃から高校生と中学生の利用が多く、部屋がすべて埋まるような日が続いている。空いている場所が無くて帰る学生もいた。混みあう時間帯に社会人が少人数で長時間利用することもあり、このような利用方法を今後も続けていくべきか迷っている。自主学習をするためのだけの施設ではないが、若者の利用への配慮をしても良いのではないかと思っているがいかがか。

事:主屋は冷房設備がないため、夏場においては主屋の利用を勧められず利用できるスペースがいつもよりも少なくなる。

M:中学生と高校生は村半へは何をしに来ているのか。勉強しているのか、涼みに来ているのか、友達などとわいわい話したり遊んだりしているのか。

事:全部混ざり合っている。友達と一緒に勉強する時間、交流する時間、一人で集中する時間、少し外に出ていく時間、映画や動画を見る時間、それぞれが1日の中で行われている。

M:滞在時間はどうか。

事:下呂市の学生は電車の時間までの数時間だけ滞在していくが、夏休みは朝から来て夕方まで滞在する学生が多いように思う。朝から夜まで通して滞在する学生もいる。勉強をしながら交流もしている。

M:社会人の占用利用は前々から予約が入っているのか。

事:前もって申込みされていることが多い。今年の夏の混み具合は昨年までは見られなかったため想定していなかった。これまでは高校のテスト期間中に同じような状況があったため、社会人からの利用申込みに対して時間や日にちを変更いただくといった調整をしたことはある。

メ:図書館も同じ時期に同じような状況だったのか。

事:把握していない。学生は村半に入れないうきに次の場所の選択肢を持っていないが、社会人は喫茶店などに行くことができる。遠いところから自転車や歩いて来た学生に「空いてない」と言ったり、この部屋を使いたいという希望をもってみえた利用者に使えないと言うなど、利用したい気持ちを折ることを心苦しく思っている。優先順位の判断も難しく、なんとかできないか悩みながら対応している。

メ:村半を整備するときに、「若者等活動事務所」と名前をつけたが、誰でも使える施設とした。今後、学生の利用が増えていった場合に、社会人の利用を制限したり、利用できなくなるようなことは徐々に増えていくのか。

事:これまでの利用状況から、学生の利用が多い期間はお盆過ぎの夏休みとテスト期間に限られる。そのようなときだけ、学生が利用しやすいような仕組みを考えることはできないかと思っている。村半は学生の活動だけでなく、地域活動の拠点でもあることから、状況を踏まえた上で若者への配慮をすべきか相談させていただいた。

メ:整備当初に決めたことが徐々に緩んでいたり、当初の思いが年月を重ねて変わっていくことは怖いと思う。

メ:大人はスケジュールを計画的に立てることができるが、子どもは「今から行くぞ!」といった突発的であることが多い。そのように発想が違う大人と子どもの利用方法を一緒にすることに無理があるのでないか。これまでの3年間の利用を踏まえて学生の利用が多い時期を予想し、そういった時期は大人の利用をある程度下げても良いと思う。柔軟性をもって対応すべきだと思う。

メ:前回の検討会で、高校生はリアルタイムで行動を決めるということをお話しされていたと思う。混雑しているときにはSNSの発信(インスタグラムのストーリーズ)により周知したり、近隣の図書館や大政と連携して混雑状況をアナウンスできるマップなどを市役所で用意するのはどうか。今回は学生の利用に限って話をしているが、祭りの期間は地域の方による利用もある。優先という言い方とするかは考えるべきだが、施設の特性を考えながら、優先期間を作ると良いのではないか。その場合は内々に実施するのではなく、オープンにして実施すると良いと思う。様々な世代で様々な考え方があり、何を大事にしているかも様々である。村半だけの問題と捉えず村半以外の施設も含めて考えると良いと思う。

事:混雑の状況をインターネットなどで見るようなハード面で対応できることを検討したい。図書館や大政とも連携し、観光などで市外からお越しになった方も含めて見える化が出来たら良いと思っている。多くの利用者が使いやすいように調整ができると良いと思っている。また相談させていただきたい。

メ:村半を整備するときに、この地域に住んでいる方の思いは、賑わうような施設を作られたり、やかましいことをされると困るというものだった。そこからはじまり、若者だけではなく地域の方も使えるし年齢も制限しないと決まった。そこは忘れないでほしい。そこをくつがえす場合は地域への説明をお願いしたい。学生がたくさん来そうだから予約が入れられないということが果たして良い事なのか。高校生など学生に特化した施設になってしまうことはいかがなものかと思う。言いたいことはわかるが、若者だけのための施設としてはじまったわけではないことを忘れないようにしてほしい。

メ:さきほど、中央蔵2階の音が1階によく聞こえるという話があったが、古い日本の建物はそういうものだと思う。古い建物を使うということは音がよく聞こえて当然のことで、下の階の利用者は我慢する、上の階の利用者は気を遣うということ子どもたちに伝えていってほしい。私が若い頃は洋楽が流行っていて長髪にジーンズと汚い恰好でうろろろしていたが、当時の大人たちにこのような若者がいると日本はもう終わりだと言われた。でもそうではなかった。そのようなことは昔から続いてお

り若者はそのように言われ続けている。私自身は子どもに味方したい気持ちになる。若者がいなくなった高山はそれこそ終わりだと思う。私たち大人がどうにかしていかなければならないと思う。子どもたちを大切にしてほしいと思う。

(2) その他

メ:市が若者に活躍してもらうための環境の整備に重点的に力を入れているということが伝わってくる。特に若者活動支援事業補助金の支給割合が10分の10というのはすごいことだと思う。今年度は11団体の申請もあったとのことから今後も続けてほしいと思う。村半については、利用者が年々増えているような公共施設はあまりないのではないかと思う。特にSNS発信についてはあのレベルのものを定期的に発信しているような公共施設は他にはないと思う。そういったところも含めて、今後村半が若者支援という点でも他の施設を引っ張っていくような施設であってほしい。今後は、利用している中学生や高校生の声をもっと拾えると良いと思う。

以上